

あの時 岩手の林業は

林業技術センターには昭和31年2月15日の創刊号からの「岩手の林業」バックナンバーがすべて揃っております。編集担当では、この貴重な財産から懐かしい話題を選びすぐつてお届けすることいたします。

今年、平成22年12月には東北新幹線が青森まで延伸し、全線開通する予定です。青森県では記念行事など多彩なイベントを準備し開業に備えていることと思います。

岩手県でも昭和57年に東北新幹線が初めて盛岡、大宮間で開通した時は、県をあげて各種の記念行事が実施されました。

その中の1つを「岩手の林業」昭和57年6月号の中から紹介します。
(原文のまま)

御所湖畔記念植樹

東北新幹線開通記念事業特別募金による中央記念行事として、岩手県と(社)岩手県緑化推進委員会との共催によって、

去る6月6日、雫石町天沼橋上流の御所湖畔において、県内林業関係者等350名余りが参加し、盛大に行われました。



式典は、岩手県知事、(社)

岩手県緑化推進委員会会長の主催者挨拶、地元雫石町長の歓迎の言葉があり、東北新幹線開通記念緑化運動ポスター原画募集入賞者の表彰、来賓祝辞に続いて参加者全員により、桜の記念植樹が行われました。記念植樹の会場となった御所湖畔は、雫石川上流南側の、御所ダム建設に伴って架け替えられた天沼橋上流部のファミリールランド周辺で、東北新幹線開通を末永く記念した桜の名所とするため、染井吉野120本、八重桜80本、計200本が植栽されました。



新幹線やまびこ

普及会員の中には、記念植樹に参加された方もおられるのではないのでしょうか。ちなみに、知事は中村直知事、緑化推進委員会会長は高橋清孝会長、雫石町長は、現中屋敷十町長のご父君中屋敷博町長でした。
編集担当では、これからも折に触れ懐かしい記事を紹介したいと思えます。読者から、「あの時のこんな話題を」とのリクエストがありましたら、できるだけお応えしますのでご一報ください。

林業技術センター普及班

019(698)1337